

はじめに



帷子自治連合会長 もり てるあき
森 輝秋

みなさんの住んでいる「帷子」は、可児市で最も人口の多いまちです。人口は約2万人・世帯数は約8,600世帯。小学校は2校（帷子小学校・南帷子小学校）、中学校も2校（広陵中学校・西可児中学校）、大学は岐阜医療科学大学があります。

みなさんの住んでいる自治会は13箇所あります。

- ①中切 ②古瀬 ③美濃田 ④菅刈 ⑤石原 ⑥茗荷 ⑦若葉台 ⑧長坂 ⑨鳩吹台
⑩緑 ⑪愛岐ヶ丘 ⑫光陽台 ⑬虹ヶ丘

あなたの住んでいる地区はどこでしょうか。まだまだ自分の住んでいるまちの「じまん」はいっぱいあります。この冊子を見て新しい「じまん」を探してください。そして、あなたが見つけた「じまん」と「ほこり」をお知らせください。



帷子地区センター長 たまおき こうじ
玉置 浩司

この冊子は「市制40周年」を記念して、みなさんに帷子地区のことをよく知ってもらうために作りました。

可児川の支流である石原川と菅刈川、中切川が流れ、鳩吹山のすそ野に広がる静かな帷子村（菅刈村・東帷子村・西帷子村が明治22年合併）は、川でしじみやうなぎが獲れて夏にはほたるが乱舞し、山では山菜が採れてキツネやタヌキに出会うことのある「ふるさと」そのものでした。この緑豊かな帷子の地も時代とともに都市化が進み、昭和40年代から交通の便に恵まれたこの地区で宅地開発が始まり、大きな団地が7つも出来て、金融機関やスーパーマーケットもできました。今では大学まで擁し、人口も最高時23,000人を超えるほど大きな地区になりました。これからの帷子地区、可児市を背負っている若い人達にも、新たに自慢できるものを作り出していてもらいたいと思います。

最後に、冊子発行に当たりご協力頂きました皆様には、お礼申し上げます。